

大 会 要 項

1. トーナメント方式とする。
2. 試合は7回制とし、1時間45分過ぎたら新しいイニングに入らない。
但し、江戸川球場使用の場合は別に定める。
決勝戦は7回制の時間無制限とする。但しコールドゲームは適用する。
3. 7回終了又は、制限時間を過ぎて同点の場合は、延長戦は行わずサドン方式を採用。
サドン方式は、無死満塁の継続打順で最大2イニングまでとし勝敗が決まらない時は、最終メンバー9名による抽選を行い勝敗を決定する。
4. コールドゲームを採用する。
3回15点、4回10点、5回以降7点差コールドとする。
5. 強風、降雨、日没等の場合4回にて成立する。
6. ベンチ入りは、代表者、保護者代表、監督、コーチ2名、スコアラー1名、選手20名とする。又、ベンチは登録時抽選にて決める。一塁側後攻とし、三塁側先攻とする。
7. チーム応援は所定の場所で行う。
8. 抗議権は、当該選手及び監督とする。
9. 選手登録
 - 登録は選手20人以内とし、背番号は0番～27番とし、主将は10番、監督は30番、コーチは28、29番とする。
 - 選手及び監督、コーチは、ユニホーム、帽子、ストッキングは統一したものを着用し、シューズは同色のものとする。ベンチ入りのチーム代表者、スコアラー、引率者代表はユニホームを着用しないこと。
(試合中監督、コーチはウィンドブレーカーを着用しないこと)
 - 選手全員、スポーツ保険に加入していること。但し、連盟は大会期間中に発生した事故に関しては応急処置以外一切の責任は持たないものとする。
10. 参加チームは単独チームとし、一切の補強を認めない。
11. 試合登録は、一時間前に登録すること。
12. ヘルメットは必ず8コ以上用意すること。又、捕手用防具は必ず着用すること。
13. 金属バット、捕手用防具は全軟連公認 (J. S. B. B)のものに限る。
14. 試合のスコアは、スコアラーが記録を正確に所定のスコアカードに記入して、試合終了後、球審のサイン記入の上本部に提出すること。
15. 試合中の選手交代は、迅速に行うこと。ランナーコーチは選手とする。
16. 試合前の素振りやベンチ前のみとする。尚、指導者は事故が起こらないよう責任をもって十二分に注意を払うこと。
17. 雨天等による日程変更は、連盟の指示に従うこと。
18. その他の注意及び大会要項は、本連盟及び審判部担当より通達する。
19. 上記に掲載されていない方法と規則は全軟連規則に準用し、特別ルールは本連盟にて決定し実行する。
20. 特 記
 - ・ゴミ等は必ず持ち帰ること。
 - ・雨天等の問い合わせは支部代表に連絡すること。
 - ・駐車場は所定の場所とし、それ以外は駐車禁止とする。

大会運営についてお願い

拝啓、早春の候、貴チーム、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は連盟ならびに審判部に格別なるご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、ご高承のことと存じますが、大会を円滑に運営させていただくため、
皆様方に、ご確認いただきたい内容を、記載させていただきました。
予めご理解いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

記

1.内容

(1)グラウンド内の練習について

- ①背番号を着けた監督・コーチのみ練習に付添えます。チーム関係者は、ベンチ内で待機してください。
- ②試合前、試合中を問わず、投球練習やキャッチボールにおいて、大人が相手をしてはいけません。
- ③試合前、試合中を問わず、投球練習の時、キャッチャー(サブ含む)に、必ずマスクやプロテクターを着用させてください。キャッチボールは対象外です。
- ④グラウンド内及びグラウンド周辺において、選手のバットの使用は⑥⑦を除き厳禁です。
- ⑤バックネットを利用したトスバッティングも禁止です。
- ⑥大会二日目以降、第一試合の当該チームのみ、アップにトスバッティングとバント練習を加えることを認めます。(フリー打撃は禁止です。)
- ⑦試合中、アップ用のグラウンドが設定された場合、バットの使用はバント練習だけ認めます。また、試合の邪魔にならないよう注意してください。

(2)試合直前について

- ①ベンチ前での素振りは、当該チームの責任の下、許可されています。
- ②代理監督の場合は、ベンチ入り後、速やかに当該審判員にお申し出下さい。
- ③キャッチャー道具2セットを必ず用意してください。
- ④サブキャッチャーにも、試合前にプロテクターを着用させておいてください。
- ⑤ボールボーイは前もって選任してください。また、必ず試合中ヘルメットをかぶるように指導してください。
- ⑥バックネットへのファールボールは、攻撃方のチームが取りに行くように、事前に指導してください。
- ⑦監督は、前もってキャプテンに3枚つづりのメンバー表を持たせてから、ベンチ前に整列させてください。

(3)試合中について

- ①当日の審判員のやりくりにおいて、塁審が途中交代する場合があります。前もってご了承ください。
- ②攻撃時間が長い場合、20分前後を目処に、攻撃方の監督さんのご了承を得た後、守備側の選手に水分補給を取らせる場合があります。
- ③上記②の場合や、選手等の治療に掛かるタイムは試合時間に含まれます。下記④に該当する事由で無い限り、ロスタイムはありません。
- ④本部の指示により、雷等で試合が中断された時点で主審等が時計を止めます。試合再開後、残り時間をカウントします。
- ⑤携帯電話の使用やベンチを出ての喫煙は禁止です。当該試合の再ベンチ入りが認められない場合があります。(トイレは問題ありません。)
- ⑥審判部員には、喫煙や昼食について、チームや選手に十分配慮した行動を取るよう指導いたします。
- ⑦選手に暴言や暴力をふるう指導者は、退場処分となる場合があります。選手同士の野次も注意してください。
- ⑧ルールの適用等に疑問があれば、主審に確認してください。(アピールと確認は違います。)
- ⑨アピールに対し、当該審判員全員が集まって下した判定は、最終判定です。再度のアピールは認められていません。
- ⑩各面に第4審判員が控えています。第4審判員は当該試合の審判員の一人です。判定やアピールに対し、助言する権限を有しています。
- ⑪ホームラン数は個人表彰に関係します。ホームランの公式判定は、主審が中心に他の当該審判員と相談し、結果を両ベンチに報告します。
- ⑫上記⑪において、チームのスコアラーは、結果を確認後、本部提出のスコア一用紙に記載してください。
- ⑬投手が、投球動作に入った時、攻撃側ベンチから"威嚇"するような大きな声を出してはいけません。
- ⑭ベンチ入り以外のチーム関係者は、観客席等から自チームの選手に指示を出してはいけません。特にベンチ裏やバックネット付近は、気をつけてください。
- ⑮試合終了時、選手が整列した時点で、アピール権は消滅します。

(4)試合終了後について

- ①アピール権は消滅しています。
- ②当該審判員や他の審判員に対するアピールは受けつけません。

2.今大会から正式に採用するルールについて

(1)守備側の選手による、作戦タイムのカウント方法について

☆昨年度の新人戦より周知期間として採用しました。

- ①作戦タイムの時、バッテリーのみの集合はカウントしない。
- ②作戦タイムの時、バッテリーに他の内野手が一人でも参加すれば、一回とカウントする。
- ③監督さんがピッチャーマウンドに行った時、バッテリーのみの場合はカウントしない。(監督さんには、ピッチャーマウンドに行った回数がカウントされます。)
- ④監督さんがピッチャーマウンドに行った時、バッテリー以外の内野手が一人でも参加した場合カウントする。

※学童の試合において、7回戦まで、三回の作戦タイムが認められています。

※延長戦において、2イニングに一回の作戦タイムが認められています。

3.その他

(1)ボークの適用について

- ①4年生以下の大会以外、ボークは一発で適用します。
- ②ボークは審判員の主観です。アピール権は有りません。
- ③チーム側からの「ボークだ！」等のコールは控えてください。

(2)駆け足の励行について

- ①審判員は守備側選手の追い出し後、駆け足でポジションに戻ることに。
- ②監督さんは、ピッチャーマウンドへ行った帰り、駆け足でベンチへお戻りください。

(3)ヘルメットについて

- ①ランナーコーチは、ベンチ内でヘルメットをかぶってから出てください。
- ②ボールボーイは主審にボールを手渡す際、ヘルメットを取らないよう指導してください。

拝啓 水温む季節となりましたが、皆様におかれましては益々ご隆盛のことと拝察いたします。日頃は並々ならぬご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今回確認していただきました内容は、毎回、江戸川区大会で、チーム関係者にお伝えしているものです。

監督・コーチの方々が、初めて大会に参加されます時、ご参考になれば幸いです。

今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

江戸川区学童少年軟式野球連盟審判部
部長 高橋 茂光

以上